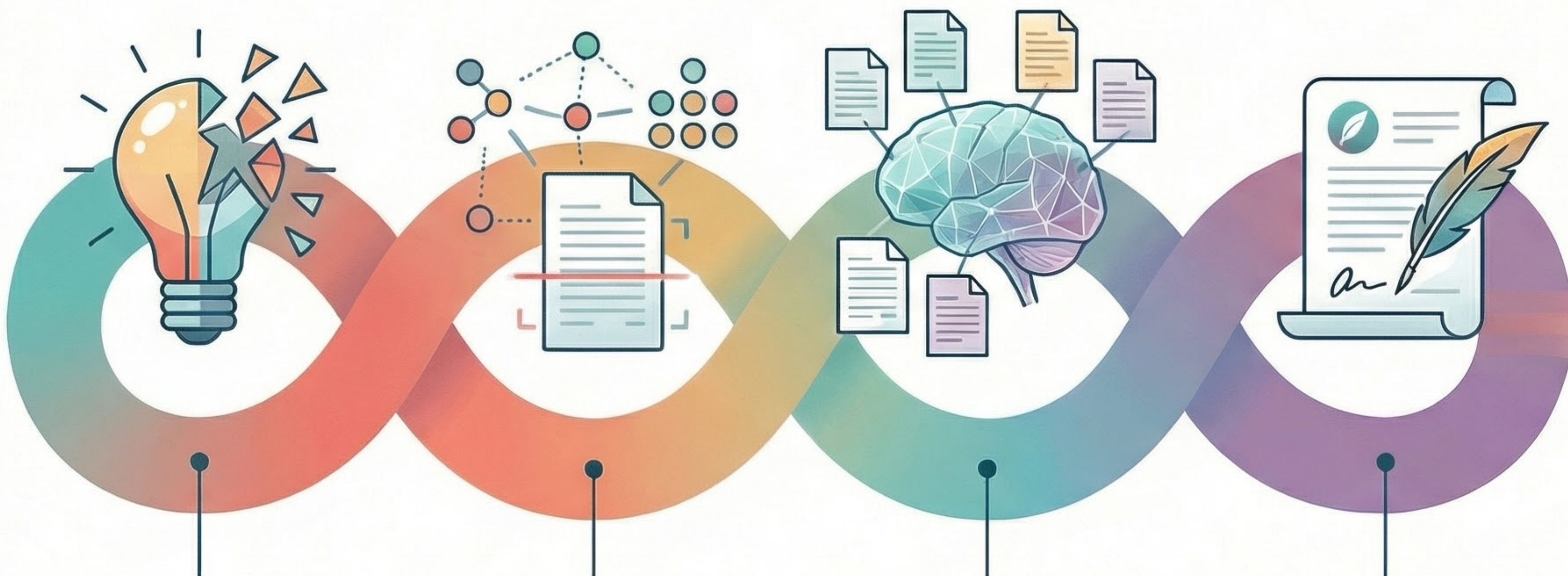


知財AIの新時代：自律型エージェント「TokkyoAi」登場

特許業務AIは、人間を支援する「Copilot」から、自律的にタスクを完遂する「エージェント」へ進化。
TokkyoAiの「Deep Research」機能が、調査からドラフト作成までを自動化。



TokkyoAi「ディープエージェント」の自律型ワークフロー



計画：発明アイデアを自動分解

ユーザーが入力したアイデアを解析し、技術的な構成要件に分解します。

調査：最適な検索式を策定・実行

特許分類やキーワードを組み合わせ、反復的に検索と検証を実行します。

分析：先行技術を検証し、特許性を評価

検索結果を自己評価し、発明の新規性・進歩性のポイントを明確にします。

起案：論理的な出願ドラフトを生成

先行技術との差異に基づき、特許請求の範囲や発明の詳細な説明を作成します。

TokkyoAiがもたらす3つの革命



思考の「見える化」でブラックボックスを解消
AIの調査・判断プロセスが透明化され、専門家が結果を信頼できます。

月額2万円からの圧倒的コストパフォーマンス

中小企業でも導入可能な価格で、日本の知財活動を民主化します。



人間は「作業」から「戦略」へシフト

定型業務をAIに任せ、より高度な経営判断や戦略立案に集中できます。